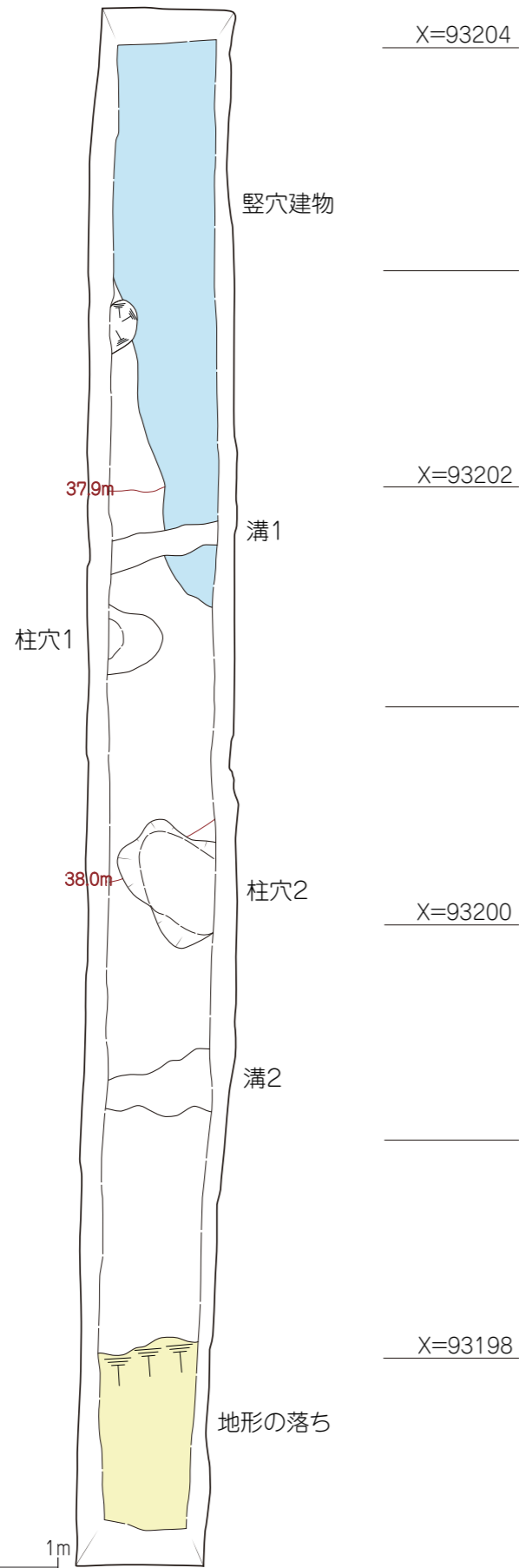




Y=-65922



J区全景(南より)



J区竪穴建物(北より)

樽味地区重要遺跡確認調査 (J区)

- 調査期間：平成22年2月2日～3月末日予定
- 調査場所：松山市樽味四丁目332番1の一部
- 調査面積：約3.5㎡
- 調査担当：松山市教育委員会
財団法人松山市生涯学習振興財団 埋蔵文化財センター

【調査のまとめ】

- J区では、地表下30cmから埋蔵文化財が確認され、遺跡が微高地南西端付近にまで広がっていることが明らかになりました。
- 微高地南西端に柱穴2基や小溝のほか、古墳時代後期とみられる竪穴建物(住居)の一角が確認されました。竪穴建物は方形プランの可能性が考えられ、古墳時代後期頃には居住域がさらに西へ広がっていたことがあらたにわかりました。
- 注目された古墳時代初め頃の大型建物に伴う境界の溝を確認するには至りませんでした。このことから、境界の溝はゆるやかに湾曲して、南西方向に続く可能性が高まりました。微高地南西域に展開する建物群の周辺景観については、いまだ未解明な部分も残されています。今後も既往の調査データの実証的な総合検証を進めてまいります。

MEMO
